

公表:令和 6年 3月31日

事業所名 札幌市みかほ整肢園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容、子どもの人数によって部屋を分けるなどの工夫を行っています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			看護師や指導員を多く配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			絵カードで1日の活動の流れをクラスに貼っています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			カーペットの消毒は毎日行い、清掃も定期的に行っています。手が触れる場所は1日3回以上消毒をして清潔を保っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議やケースカンファレンス会議等で方針、目標を意識した保育の計画や振り返りを行い、職員間で共有しています。職種ごとに月1回以上の会議を行っています。また、1週間に1回グループでSVを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保育やりハビリ、それぞれ外部からの研修や評価を受けて、業務改善をしています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修計画に沿って研修を行っていました。また、必要に応じて随時研修を追加で行いました。施設内だけではなく施設外の研修にも積極的に参加して職員の資質向上に努めています。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			利用時の聞き取りや事業所内面談を通して保護者のニーズを確認し、多職種で連携しながら計画を作成して評価を行っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保育士やリハビリ職員など多職種で連携してプログラムを立案しています。行事も保育職員だけでなくリハビリ職員も連携して計画の立案を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			朝の会、ふれあい遊び、リズムは日課として行い、月案に沿って年齢や発達に合わせて保育の内容を工夫しています。また、季節に合わせた活動を取り入れています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日制表を作成し、リーダー・サブリーダー・アシストの役割分担を活動を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動後には振り返りを行い、良くするためにどうしたら良いのか話し合っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			家族からの相談があった際には関係機関と連絡を取り合い連携して支援を行っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて児童相談所、保健センター、札幌市家庭児童相談室、生活保護課等関係機関と会議を開き、情報共有をして連携をしています。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			必要に応じて病院の受診同行などを行い、情報共有を行っています。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		行事の時には保育園の子どもたちが来園したこともありますが、今後は時期を見て交流を企画しますのでよろしく願います。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				自立支援協議会や子ども部会の研修会に参加しています。東区子ども部会の運営委員となり、出席しています。

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			クラス懇談や事業所内相談支援を行ったり、単独通園時には連絡ノートや送迎時に様子を伝えていきます。必要に応じて電話で様子を伝えていきます。		
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングを行いました。		
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や要望に応じて適宜個別に説明させていただいております。		
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			年1回ミニ講座を開き、実際の行っている活動の様子を交えて説明を行っています。		
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			各クラスの懇談を月1回、親子発達支援を年3回行い、困り感などについて話をする場を設けています。		
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母会のサポートを行いました。また、座談会や学習会等、月1回程度保護者が集まる機会を設けています。		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			電話相談も含めて、保護者の相談は常に受け入れています。日中一時支援事業、ヘルパー制度、ショートステイ利用により保護者の負担軽減を図っています。		
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			学プリによるお便りお知らせ、ホームページ等で活動をお知らせしています。		
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			連絡は庫熱で行い、個人情報の携帯電話によるメールでの連絡を行っています。緊急電話も受けています。		
	⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				運営協議会の時に町内会の方にも参加して頂き、パワーポイントにより説明を行いました。また、町内会の懇談には参加しました。連合町内会の運動会に参加しました。	
	非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
㉒		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				火災や地震を想定した避難訓練を月1回実施しています。	
㉓		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				利用前に保護者からの聞き取りを行っています。1人1人薬の説明書のコピーを頂いています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			かかりつけの病院で診断書を提出していただき、指示に基づいて食事の提供をしています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを報告し、改善点を打ち合わせで共有しています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルや研修会を通して適切に対応しています。毎週水曜日法人内で統一したテーマに基づいて朝の打ち合わせでスキル練習を行っています。職員の落ち着きプランを掲示しています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			事前に保護者に説明をした上で児童発達支援計画や日誌、記録に記載をしています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。